南房総市地域福祉計画・地域福祉活動計画 策定のための市民アンケート調査

~ご協力のお願い~

市民の皆さまには、日頃、市政運営および社会福祉協議会活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

本市および市社会福祉協議会では、平成30・31年度にかけて、市民の皆さまと市、関係機関・団体等が手を携え、誰もが心豊かに、安心して暮らし続けられるまちづくりを推進するため、(仮称)『南房総市地域福祉計画・地域福祉活動計画』策定の作業に着手したところです。その一環として、市民の皆さまが「地域」の中でどのような暮らしを送り、どのようなお考えを持っているのか等を把握するため、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

この調査は、18歳以上の市民の皆さまの中から調査対象として無作為に1,500人の方を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。調査結果については統計的に処理しますので、お答えいただいた内容によって具体的な個人を特定することはありませんし、計画策定の基礎資料とする以外の目的で使用することもありません。

より有効な調査とするために、一人でも多くの皆さまのお声をおきかせい ただきたいと存じます。ご多忙の折大変恐縮ですが、調査の趣旨をおくみ取 りいただきご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 30 年 11 月

南房総市長 石井 裕 社会福祉法人南房総市社会福祉協議会会長 活

渋谷 幸一

ご記入にあたってのお願い

- 1 あて名のご本人が直接お答えください。ご本人が、身体の具合その他の事情 でご記入できない場合は、他の方がご本人のお答えをお聞きの上、代筆され ても構いません。
- 2 質問によっては回答する方を限定しているものもありますので、なるべく質問の順にお答えください。
- 3 ご記入は黒または青色の鉛筆、ボールペン、万年筆などでお書きください。
- **4** お答えは、現在の状況、お考え等に最も近いと思う回答選択肢の番号の数字を○ で囲んでお示しください。
- 5 「その他」を回答したときは、後の()内に具体的な内容をご記入ください。
- 6 ご記入いただきましたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れて、

平成30年12月7日(金)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です。調査票や封筒へのお名前、ご住所等のご記入も不要です)。

この調査に関してのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

南房総市 保健福祉部 社会福祉課 TEL. 0470-36-1153 (内線 301) / FAX. 0470-36-1133

◇「地域福祉」とは:

市民一人ひとりの生活の困りごと(生活課題)の解決や生活に望むこと(生活の質)の向上をめざす取り組み(実践)と仕組み(施策・制度)が「地域福祉」です。

私たちが暮らす「地域」は、少子高齢化やコミュニケーションの変化により、生活の困りごと(生活課題)も多様化しています。そこで「地域福祉」は、多様化する地域の課題を解決し、誰もが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」をめざすため、市民の皆さんと市役所・社会福祉協議会などの連携・協働を重視します。

◇「地域福祉計画」とは:

「地域福祉計画」は、社会福祉法第 107 条の規定に基づき、「地域福祉」を推進する包括的な施策をとおして、その地域で暮らす皆さんの支えあい・助けあいを行政機関(各市町村)が支援する計画です。

高齢者や障害のある人たちを対象にした行政計画(高齢者福祉計画や障害福祉計画等)と異なり、「地域福祉計画」は、その地域で暮らすすべての人たちを支援する行政計画です。

◇「地域福祉活動計画」とは:

「地域福祉活動計画」は、市民の皆さんが生活の困りごと(生活課題) や生活に望むこと(生活の質)に気づき、その解決や向上をめざす取り組みについて考え、地域全体で市民の皆さんが支え合い・助け合いに取り組むことをめざします。

社会福祉法第 109 条で「地域福祉の推進団体」とされる「社会福祉協議会」が、計画づくりと実践を支援します。

I あなた(封筒のあて名のご本人)自身について

ア 性別(1つに〇)

1 男性

2 女性

イ 年齢(1つに〇) ※11月1日現在でお答えください。

1 18・19歳

2 20~29歳

3 30~39歳

4 40~49 歳

5 50~59歳

6 60~69歳

7 70~79歳

8 80 歳以上

ウ お住まいの地区(1つにO)

1 富浦

2 富山

3 三芳

4 白浜

5 千倉

6 丸山

7 和田

エ 南房総市に、通算して何年住んでいますか。(1つに〇)

1 1年未満

2 1年~3年未満

3 3年~5年未満

4 5年~10年未満

5 10年~20年未満

6 20年以上

オ 家族構成(1つに〇)

1 ひとり暮らし

2 夫婦のみ

3 二世代世帯 (親と子)

4 三世代世帯(親と子と孫)

5 その他(

)

カ 同居している家族に、介護・支援が必要な方がいますか。(1つに〇)

1 いる

2 いない

キ お住まいは、次のどれにあたりますか。(1つにO)

1 持ち家(一戸建て)

2 持ち家(マンション等集合住宅)

3 賃貸住宅(一戸建て)

4 賃貸住宅(マンション、アパート)

5 公営住宅

6 官舎・寮・社宅等

7 その他(

)

ク 職業(1つに〇)

1 常勤の勤め人(正社員・正職員) 2 非常勤(パート・アルバイト)

3 契約・派遣・登録社員 4 自営業・家族従業

5 内職・在宅での仕事 6 学生

7 家事専従 8 無職

9 その他()

ケ あなたにとって「地域」とは、どの範囲のことだと思います<u>か。(1つにO)</u>

1 市の全域 2 旧町村単位(前ページ 「ウ」の範囲)

3 行政区単位 4 班・組の単位

5 隣近所 6 その他()

Ⅱ お住まいの地域の状況について

問1 あなたがお住まいの「地域」(上の「ケ」の回答) は暮らしやすいですか。 (1つに〇)

1 暮らしやすい 2 どちらかと言うと暮らしやすい

3 どちらかと言うと暮らしにくい 4 暮らしにくい

問2 お住まいの地域の生活環境について、どう思いますか。(①~⑪につき、 それぞれ1つずつに〇)

	そう思う	どちらかと いえば そう思う	あまり そう 思わない	そうは 思わない
①緑が多いなど住環境が良好で ある	1	2	3	4
②治安が良く安心して暮らせる	1	2	3	4
③就労の場が確保されている	1	2	თ	4
④公共施設の利用が便利である	1	2	თ	4
⑤子育てをしやすい環境である	1	2	3	4
⑥子どもの遊び場や公園が充実している	1	2	3	4
⑦医療機関が充実している	1	2	3	4

⑧近所付き合いが良い	1	2	3	4
⑨高齢者が憩える場所が充実 している	1	2	3	4
⑩買い物に行くのに不自由しな い	1	2	3	4
⑪地域の福祉サービスが、ほぼ足りている	1	2	3	4

問3 お住まいの地域に、今後も住み続けたいですか。(1つにO)

1	ずっと住み続けたい	2	当分は住み続けたい	→問4へ
3	できれば市外に移りたい	4	すぐにでも市外に移りたい	→問5へ

- 問4 <u>問3で「1 ずっと住み続けたい」「2 当分は住み続けたい」と答えた方がお</u> 答えください。 住み続けたい理由は、次のどれですか。(3つまでにO)
- 1 生まれ育った地域のため
 2 持ち家があるため
 3 (自分や家族の)仕事や通学のため
 4 親や親類の介護のため
 5 自然環境が豊かなため
 6 人間関係が良好なため
 7 行政サービスが良いため
 8 経済的な問題のため
 9 その他()
- 問5 <u>問3で「3 できれば市外に移りたい」「4 すぐにでも市外に移りたい」と答えた方がお答えください。</u>市外に移りたい理由は、次のどれですか。(3つまでにO)

	までにO)		
1	(自分や家族の) 仕事や通学のため		
2	住宅に不満(老朽化)があるため		
3	日常生活が不便なため		
4	親や親類の介護のため		
5	人間関係がわずらわしいため		
6	人付き合いがないため		
7	行政サービスが使いにくいため		
8	経済的な問題のため		
9	その他()	
L			

Ⅲ 日常生活で困っていることについて

問6 日常生活の中で困っていること、悩みを感じていることは、次のどれで すか。(3つまでに〇)

- 1 仕事(学校生活)に関すること
 2 自分の健康に関すること
 3 家族の健康や介護に関すること
 4 子育てに関すること
 5 近隣(地域)のトラブル、人間関係に関すること
 6 家族(親戚)のトラブル、人間関係に関すること
 7 将来の生活に関すること
 8 経済的なこと
 9 その他()
 10 特にない →問8へ
- 問7 <u>「問6」で「10 特にない」と答えた方**以外**の方がお答えください。</u> 問6で 回答した困っていることや悩みを、誰(どこ)に相談していますか。(あてはまるものすべてにO)
- 家族 1 2 親戚 3 職場の人 4 友人、知人 5 近隣(地域)の人 6 市役所 7 社会福祉協議会 8 民生委員・児童委員 9 行政区(班、組)の役員 10 医師や保健師など 11 地域包括支援センター(高齢者相談センター) 12 ホームヘルパー、ケアマネージャー 13 安房地域生活支援センター 14 インターネットの相談窓口(掲示板)など 15 その他の人(機関)() 16 相談相手がいない 17 どこに相談したらいいか分からない 18 誰にも相談したいと思わない

Ⅳ ご近所付き合いについて

- ご近所との付き合いは、どの程度していますか。(1つに〇) 間 8
 - 1 お互いに訪問し合う
 - 2 何か困った時に助け合える
 - 3 立ち話をする
 - 4 あいさつをする
 - 5 ほとんど付き合いはない
- 問9 ご近所付き合いは、地域の暮らしやすさに影響すると思いますか。(1つ (O)
 - 大きく影響する 1

- 2 どちらかと言えば影響する
- 3 どちらかと言えば影響しない
- 4 影響しない
- 問 10 ご近所付き合いの関係を、今後どうしていきたいですか。(1つに〇)
 - 1 ご近所付き合いを深めたい
 - 2 現状のままでよい
 - 3 ご近所付き合いをなるべくしたくない
 - 4 ご近所付き合いをやめたい

▼ 支え合い・助け合いについて

- 問11 お住まいの地域では、住民同士の支え合いが行われていると思いますか。 (1つに0)
 - 思う 1

- 2 どちらかと言うと思う
- 3 どちらかと言うと思わない 4 思わない
- 問 12 地域で困っている人がいたら、助けようと思いますか。(1つにO)
 - 1 積極的に助けようと思う
 - 2 助けようと思う
 - 3 あまり助けようと思わない
 - 4 助けようと思わない

問 13	地域に	困っている人がいた場合、	「頼まれ」	たらでき	ると思うこ	ことはあり
	ますか。	(あてはまるものすべて)	(O			

	\$ 7 % 8 (3) 2 155 5 4 5 5 7 2 1 2 5 7		
1	近隣への声かけや安否確認		
2	ごみ出し		
3	買い物の手伝い		
4	子どもの預かり		
5	保育園や習い事への送り迎え		
6	病院への付き添いなど外出の手伝い		
7	話し相手		
8	書類の確認や各種手続きの代行		
9	家事援助(食事作りや掃除など)		
10	電球や蛍光灯などの交換		
11	草取り(草刈り)や庭の手入れ		
12	その他()	
13	できることはない・頼まれてもしたくない		

問 14 <u>問 12 で「3 あまり助けようと思わない」「4 助けようと思わない」と答えた方がお答えください。</u>(あまり)助けようと思わない理由は何ですか。(1つにO)

1	仕事(学校)や家事などで忙しく、時間がないから
2	地域の人を知らないから
3	地域の中で、仲の良い人、気の合う人がいないから
4	あまり関わりを持ちたくないから
5	その他(

Ⅵ 地域活動(ボランティア活動を含む)について

問 15 地域の行事や活動 (※ボランティア活動を含む) に参加していますか。 (1つに〇)

1 2	積極的に参加(協力)している → 問 16 へ 時々参加(協力)している
3	関心はあるが参加(協力)していない
4	参加(協力)していない

問 16 <u>問 15 で「1 積極的に参加(協力)している」「2 時々参加(協力)している」」と答えた方がお答えください。</u> それはどのような活動ですか。(あてはまるものすべてにO)

1	行政区(班、組)の活動	
2	青年会(壮年会)の活動	
3	子ども会の活動	
4	老人クラブの活動	
5	公民館の活動	
6	文化、スポーツの活動	
7	消防団(自警団等、自主防災組織を含む)の活動	
8	赤十字奉仕団の活動	
9	地域づくり協議会の活動	
10	ボランティア団体の活動(高齢者、障害、子育てなど)	
11	ボランティア団体の活動(教育、青少年相談員、PTAなど	
12	ボランティア団体の活動(防災、災害ボランティアなど)	
13	ボランティア団体の活動(その他:)
14	その他(
		→問 18 ヘ

問 17 <u>問 15 で「3 関心はあるが参加(協力)していない」「4 参加(協力)していない」」と答えた方がお答えください。</u>参加(協力)されない理由は何ですか。(1つにO)

1	忙しくて時間がない(仕事、学校、家事、子育て、介護など)
2	健康(体力)に自信がない
3	人間関係が不安・わずらわしい
4	活動に関する情報がない
5	身近な所に活動の場がない
6	興味の持てる活動が見つからない
7	活動するきっかけがない
8	その他(

問 18 問 16 で挙げたような活動が、地域でもっと活発に行われるためには、何が大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

- 1 住民同士が困ったときの、助け合いの関係を深めること
- 2 あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げること
- 3 転入者など新たに住む人との関係づくりを強化すること
- 4 地域の学校と住民の交流を深めること
- 5 地域の会社・企業等と住民の交流を深めること
- 6 交流の機会となるさまざまな地域行事を増やすこと
- 7 その他(
- 8 特に思いつかない
- 問 19 現在の、地域福祉に関する住民と市役所との「協働」の関係(一緒に作り上げる関係)について、どう思いますか。(1つにO)
 - 1 良い関係ができている
 - 2 どちらかと言うと、良い関係ができている
 - 3 どちらかと言うと、良い関係ができていない
 - 4 良い関係ができていない

協働

市民が相互に、または市民と行政が、お互いに共通する目的の実現や地域課題の解決のために、各々の資源や特性をいかして役割と責任を分担しながら、ともに連携・協力して取り組みを進めること。

Ⅶ 防災について

問 20 地域の防災訓練(防災行事)に参加していますか。(1つに〇)

1 参加している

- 2 参加していない
- 3 実施されていない
- 問 21 災害が起きた場合について不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてにO)
 - 1 災害に備えた用意ができていない 2 避難する場所がわからない
 - 3 避難した場合に、避難所での生活に不安がある
 - 4 障害や高齢の方(*自分を含む)が一人で避難ができるか不安
 - 5 日中は離れているため、家族が避難できているか不安
 - 6 定期的な通院や常備薬の確保等ができるか不安 7 頼る人がいない
 - 8 その他(
 - 9 特に不安に思うことはない

問 22 ご近所に、災害が起きたら避難支援が必要と思われる方はいますか。また、いる場合、それはどのような方ですか。(あてはまるものすべてにO)

1 高齢者 2 障害のある人 3 乳幼児がいる親の方

4 妊婦 5 いない 6 分からない

- 問 23 <u>問 22 で「1 高齢者」~「4 妊婦」と答えた方がお答えください。</u> その人たちに対して、何か支援の行動をしたことはありますか。また、ある場合、それはどのようなことでしたか。(あてはまるものすべてにO)
 - 1 日頃から声かけなどをしている
 - 2 災害時のことで話し合ったことがある
 - 3 行政区(班、組)の役員に避難支援について話をしたことがある
 - 4 民生委員・児童委員に避難支援について話をしたことがある
 - 5 何もしていない
 - 6 その他()

Ⅲ 「成年後見制度」について

- 問24 「成年後見制度」について知っていましたか。(1つに〇)
 - 1 知っていた
 - 2 よく知らないが、聞いたことはある
 - 3 知らなかった

成年後見制度:

判断力が不十分な成年者(知的障害者、精神障害者、認知症の高齢者等)が不利益を被らないように家庭裁判所に申し立てをし、その方を援助してくれる人(「後見人」)を付けて、財産管理や福祉サービスの利用などを任せる制度。

- 問 25 万一、自分自身の判断能力が不十分になった場合、「成年後見制度」に基づいて自身の財産等を「成年後見人」に任せることについて、どのように思いますか。(1つにO)
 - 1 仟せてもよい *→問26へ* 2 仟せたくない *→問27へ*
 - 3 分からない・判断できない *→問 27 へ*

問 26 <u>問 25 で「1 任せてもよい」と答えた方がお答えください。</u> 誰になら、任 せてもよいと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

1	Ⅰ 家族

- 2 専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門家)
- 3 市民後見人
- 4 その他()

市民後見人:

市町村等が実施する養成研修を受講するなどして、「成年後見人」等として必要な知識を得た一般市民の中から、家庭裁判所が成年後見人等として選任した人。

IX 虐待等について

問 27 あなたは、地域の出来事として、下記の①~④に示す家族等による虐待 等があったことを聞いたことがありますか。(それぞれ 1 つずつに〇)

	聞いたことがある	聞いたことはない
①高齢者への虐待	1	2
②障害のある人への虐待	1	2
③子どもへの虐待	1	2
④配偶者等からの暴力	1	2

問 28 あなたの周囲で虐待や暴力が発生していることが分かったら、最初にどのように対応しますか。(1つにO)

- 1 ご近所の人に連絡(相談)する
- 2 行政区(班、組)の役員に連絡(相談)する
- 3 民生委員・児童委員に連絡(相談)する
- 4 市役所に連絡(相談)する
- 5 地域包括支援センター、障害者虐待防止センターに連絡(相談)する
- 6 児童相談所へ連絡(相談)する
- 7 警察へ連絡(相談)する
- 8 ようすを見るため、その家を訪問する
- 9 何もしない
- 10 その他()

X 生活に困ったときのことについて

- 間 29 生活に困った時のために、「生活困窮者自立支援相談窓口」という相談窓口がありますが、知っていましたか。(1つにO)
 - 1 知っていた
 - 2 よく知らないが、聞いたことはある
 - 3 知らなかった

生活困窮者自立支援(制度):

生活や仕事に心配・不安・悩みを抱えている方について、地域において 自立した生活が行えるよう、相談支援員が無料で相談に応じ、問題解決に 向けたお手伝いをする制度です。

例えば、次のような支援があります。

- ・離職等で住居を失う恐れがある場合、家賃額を有期で支給
- ・生活の安定(社会的、経済的自立)のための就労支援
- 家計を立て直すためのアドバイス(計画)
- 問30 あなたの周囲で生活に困っている人(問29「生活困窮者自立支援制度」 に該当する程度)がいた場合、最初、どのように対応しますか。(1つに 〇)
 - 1 ご近所の人に連絡(相談)する
 - 2 行政区(班、組)の役員に連絡(相談)する
 - 3 民生委員・児童委員に連絡(相談)する
 - 4 市役所に連絡(相談)する
 - 5 社会福祉協議会に連絡(相談)する
 - 6 ようすを見るため、その家を訪問する
 - 7 何もしない
 - 8 その他(

XI 就労支援について

- 問31 現在、働いていますか。(1つに〇)
 - 1 働いている *→問33へ*
 - 2 働きたいと思っているが、働いていない
 - 3 働いていない

→問 32 へ

問 32 問 31 で「2 働きたいと思っているが、働いていない」「3 働いていない」 <u>と答えた方のみ。</u> 働いていない主な理由は何ですか。(1つにO)

- 健康、体力面で不安がある
- 子育てに専念したい 2
- 3 家族の介護や看護のため
- 家族が望まない 4
- 5 経済的に働く必要がない
- 6 仕事が見つからない(雇ってくれるところがない)
- 7 人間関係がわずらわしい
- 8 保育施設など子どもを預ける場所がない
- 9 働きたくない(就業意欲がない)
- 10 その他(

社会福祉協議会(地域福祉を推進する民間団体)について XII

)

- 間 33 地域の福祉の推進を図るために諸活動を行っている「社会福祉協議会」 という組織を知っていましたか。(1つに〇)
 - 名前も活動内容も知っていた 1
 - 2 名前を聞いたことがあるが、活動内容は知らない
 - 3 名前も活動内容も知らなかった
- 間 34 問 33 で「1 名前も活動内容も知っていた」と答えた方がお答えください。 社会福祉協議会の活動の中であなたが知っていたものは何ですか。(あて はまるものすべてに()
 - 社会福祉協議会会員の募集
 - ふれあいランチサービス(無料の配食サービス)
 - 3 社会福祉大会の開催
 - 法律相談事業 4
 - 寄付金品の受入れ 5
 - 生活福祉資金の貸付事業 6
 - 地区社会福祉協議会活動(住民による高齢者支援、地区交流会開催など) 7
 - 共同募金運動(赤い羽根募金、歳末たすけあい募金、義援金の受付け)
 - 9 日常生活自立支援事業(日常の金銭管理、福祉サービス利用援助)
 - 10 高齢者福祉活動(高齢者肖像画寄贈、結婚50周年祝賀事業など)
 - 介護事業(ケアプランの作成、ホームヘルプサービス、介護予防事業) 11
 - 12 福祉団体の事務局 (民生委員児童委員協議会、老人クラブ、身体障害者(児)福 祉会、ひとり親福祉会、遺族会等)
 - 13 ボランティア活動への支援 (**次ページにも選択肢が続きます*)

- 14 広報活動(広報誌『てんだぁ』の発行、ホームページの情報提供、声の広報など)
 15 車いすの貸出事業、リサイクル事業
 16 移送サービス事業
 17 『ちくら介護予防センターゆらり』の指定管理
 18 ささえあいネットワーク(協議体)と生活支援コーディネーターの配置
 19 応急援護資金事業(災害見舞金の支給)
 20 「ふれあい(お達者)サロン」支援
 21 みなみんおたすけサービス(有料生活支援サービス)
 22 生活困窮者自立支援事業
- 問35 社会福祉協議会が行う活動として、今後、充実させてほしいものは何ですか。(3つまでにO)

)

- 1 ボランティア活動への参加促進と支援
- 2 住民による見守りや支え合い活動への支援
- 3 隣近所や行政区(班、組)など、交流活動への支援
- 4 気軽に相談できる「福祉総合相談」の充実
- 5 在宅生活の福祉サービスの充実

23 その他(

- 6 地域住民への福祉に関する普及啓発
- 7 学校における福祉体験学習の推進
- 8 福祉サービスに関する情報発信の充実
- 9 その他(

XⅢ 「地域福祉(福祉のまちづくり)」について

- 問36 日常生活で自分自身が困ったときに、民間の事業所(団体)が有料で代行してくれるとしたら、頼みたいことは何ですか。(あてはまるものすべてにO)
- 自分自身の安否確認 2 買い物 3 ごみ出し 子どもの預かり 4 5 子どもの保育園(習い事)への送り迎え 外出の付き添い(通院、買い物など) 家事援助(食事、掃除など) 7 書類の確認や各種手続きの代行 9 電球や蛍光灯などの交換 10 草取り(草刈り)や庭の手入れ 11 その他() 12 特にない

問 37	′ 今後、地域福祉を推進していくためには、市と民間団体と住民の関係で、 何が必要だと考えますか。(1つにO)
1 2 3 4 5 6	市が中心になって取り組む 民間団体(社会福祉協議会)が中心になって取り組む 民間団体(福祉施設・事業所など)が中心になって取り組む 地域住民が中心になって取り組む 市・民間・地域住民が協力して取り組む その他(
問 38	3 今後、南房総市で「福祉のまちづくり」を進めるためには、どんなこと が重要だと思いますか。(5つまでに〇)
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	相談支援体制の整備 社会福祉施設での地域住民との交流 わかりやすい福祉情報の提供 地域内の福祉サービスの連携 在宅サービスの充実 保健・医療・福祉の連携 福祉サービスを受ける人の権利を守ること 福祉教育の充実 ボランティア、地域活動による生きがいづくり だれにでも使いやすい施設の充実 災害時・緊急時の防災・安全対策の充実

問 39	最後に、	あなたが普段困っていることや、	あなたが地域でやってみたい
	活動など	、自由にお書きください。	

12 心と体の健康づくり13 ボランティアの養成14 専門的人材の交流

17 その他(

15 地域住民の交流・助け合い

16 市の福祉の予算の増額を図ること

質問は以上です。本調査にご協力くださり、誠にありがとうございました。